

に對しては、一臺一組なれば、一日半未滿の作業にて結了すべし。三臺一組なれば約四時間強の作業にて結了すべし。秋季第三回の收穫量千五百斤に對しては、一臺一組なれば、約六時間未滿の作業にて結了すべし、三臺一組なれば約二時間未滿にて結了すべし。

栽培後三年乃至五年間、第一回の收穫量七千斤に對しては、一臺一組なれば約三日間未滿の作業にて結了すべし。三臺一組なれば約一日中に仕上げ得べし。其第二回の收穫量五千斤に對しては、一臺一組なれば約二日間にて結了すべし。三臺一組なれば約六時間強にて仕上がるべし。其第三回の收穫量三千斤に對しては、一臺一組なれば一日と二時間強。三臺一組なれば三時間強にて仕上がるべし。

## 第二十章 苧朝纖維精製法

以上の如く手工又は器械によりて剥皮したる粗苧は、織物其他の原料に供せらるゝに至る迄は、尚幾多の操作を経ざるべからず。殊に護謨質除去(Degumming)の一事は、精製麻上最も注意すべき要點なり。生麻は人の知る如く粘著質ありて、之に觸るれば軽く指頭に粘著す、是は其の纖維に護謨質物(重にペクトースPectose、クトースCoutose、パスクロースVasculose)を含有するが故にして、其の多量なるものは製絲作業に適せず、仍て當業者は此護謨質除去に就いては各國種々の苦心をなす處にして、其の優秀なる方法の發明者は總も、其の發育良好にして莖太く且つ長きものは纖維歩合多きを常とす。

### 第一節 臺灣

今臺灣各地に於ける纖維歩合を見るに收穫の時期及び莖の長短大小により差あり。

#### 一、高雄州甲仙地方

莖	長	生莖に對する乾燥纖維歩合	莖	長	生莖に對する乾燥纖維歩合
三	尺	三%	五	尺	五%
			七	尺	七%

今甲仙庄に於ける第三水の坪刈の結果を見るに

苧麻園の等級	坪當生莖重	坪當乾燥纖維重	生莖に對する乾燥纖維歩合
上	九六〇	三五 <small>g</small>	三・六四 <small>%</small>
中	六四〇	五八	四・三八
下	四六四	一九	四・〇九
地	六八八	三七	三・九七

之を要するに甲仙地方は各期平均三乃至四%を以て平均歩合となすべきか。ゴム質の除去されたる粗麻は更に窯中にて煮沸さる。此の窯は麻纖維の互に相固着するを防ぐ為め、針金の網状淺盤を交互に嵌め込みたるものとす、此の煮沸時間は約七時間にして、その後清水にて洗滌して曹達の痕跡を去り、更に十時間及十二時間に互り石灰溶液12%の鹽化物に浸し、又清水にて洗滌す。茲に至り掛け、又次にGillspeading機に掛けらる。此の機により纖維は片々に切斷せられ、次にその長さ厚さの複雑なる作業は、詳記の煩に不堪。機械の如きも最近の發明なるに不拘、頗る多種多様にして、各工場毎にその長短を取捨して使用する處必ずしも一様ならず。

以上の如き科學作用に由りて、草棉に彷彿たる一種の苧麻綿絮(Cotonized Ramie)を製出し、之を原料として織物その他諸種の原料たるラミー紡績縲なるものを作る。

## 第二十一章 製麻歩合

### 第二節 日本国内

東京駒場に於ける試験によれば三・一%内外なり。

## 第二十三章 纖維の品質

### 第一節 産地と苧麻纖維の品位

酷暑の熱帯地方に産するものは生育極めて旺盛なるが故に、その莖圍太く